

# 100人のNEWS

No. 177

教育再生  
地方議員百人と  
市民の会

理事長  
大阪市議員 辻 淳子  
【発行・編集責任者】  
事務局長 増木重夫  
大阪府吹田市古江台  
2-10-13  
TEL 090-3710-4815  
FAX 06-6835-0974  
<http://www.100n.ne.jp/~h100prs/>

## 防衛大学への受験妨害

兵庫県立K高校

あの温厚なヒゲの隊長も激怒されるだろう。とんでもない情報が入ってきました。現在、詳細確認のため、今しばらくインシヤルでご辛抱いただきました。百人の会は書きメールを受信した

## 従軍慰安婦何をさせられたの

大阪府吹田市でとんでもない偏回授業

●F宛に下記メールが来ましたので転送します。  
.....

実は11月の7、8で防衛大学の入学試験があったのですが、僕と同じ、兵庫の「K高校」の友達9人が、同校の「O(理科)先生」「Y(英語)先生」の2人に、事前に「自衛隊の試験、そんなもの受けなくていい。もし受けるなら、他の大学には推薦しない。」と威圧されて、受験を阻止されたんです。他のクラスの12人は先生が違うので受験できました。受験を阻止された9人の友達がかわいそうです。PTAも学校に抗議しましたが、うまく言いぐるめられたようです。僕は納得できません。二人の先生は国賊です。皆さんの力を貸して下さい。

二人の先生が国賊云々より、組合の先生方が最も声高に叫ぶ、生徒の「人権」、学問の自由を何と考えるのでしょうか。護憲派にあるまじき態度だと思えます。怒り心頭！  
そこで、早速兵庫県議会森脇保仁議員に調査を依頼。「徹底的に闘うのが私の心情！」と議員は県教委を通じて調査を開始しました。以前から自衛隊入隊妨害の話は何度かありましたが.....

詳細は山谷議員宛ての要請書を見ていただきたいと思います。このH教諭は2年前にも前任の西山田中学校で自分が学年主任であるにもかかわらず遠足の京都で生徒を放り出し、ある裁判に駆けつけた御仁である。全く反省がないというのか.....  
そこで我々は早速NPO法人百人の会顧問山谷えり子議員に次の書簡を送り政府に質問していただくと考えた。また地元藤木栄介吹田市議会議員には吹田市議会での質問を要請しました。

実は、以前にも問題があり先生にはせめていただきました吹田市で、またとんでもない事件が起こりました。吹田市立第一中学校で、社会科平井三津子教員が「従軍慰安婦はどんなことをさせられましたか.....」などと記載されたプリントを副教材として授業中生徒に配布し、その内容に違和感を持った保護者が、大倭(やまぐ)の会(代表・山道哲也

「百人の会会員」に相談しました。そして大倭の会より百人の会に相談があり、理事会で取り扱いを検討しましたところ、「局地戦をやってももぐらたたきになるだけ、早速山谷先生に相談しよう」ということに至ったわけです。このプリントは全12枚で、我々の手元にあるのは5枚。検証いただければお分かりと思いますが、偏向度はAクラス。余の7枚を地域住民として検証したく、学校、市教委に開示を求めましたところ余程ひどいのか応じてもらえませんでした。とりあえず公文書公開の手続きは執りました。また学校は生徒からプリント全てを回収したようです。

私も内容は内容自体も不適切極まりないと思いますが、それ以前に副教材の使用に際しその責任の所在がいまひとつ明確でないような気がしますが、また、この平井教員はいわくつき極左教員で、2年前に学年主任であるにもかかわらず生徒の遠足の引率を放り出し裁判の傍聴に出かけた御仁です。そこで貴議員より政府に対し下記事項等につき「質問趣意書」を提出していただきたく要請いたします。

一 「副教材」を定義してください。先生が教室で生徒に配布するものは全て「副教材」と思慮しますが、この認識は間違いでしょうか。  
※このプリントを教委は「H先生が個人的にやった。」と暗に副教材ではないといっているようです。  
二 「副教材」の使用権限の所在を明らかにしてください。「副教材」の配布、内容に関しだれが責任を負うのでしょうか。

三 「副教材」の検証は保護者、地域住民は可能でしょうか不可能でしょうか。可能ならその方法は  
四 「副教材」の使用に際し、授業中副教材を中心に授業を進め、教科書を中心と聞き及んでいます。事実上副教材が教科書になっているわけですか。このことは許されるのでしょうか。これが許されるなら教科書の「検定」の意味がなくなると思われます。

五 その他貴議員が必要と思われること.....

## 大阪府内全市町村議会議場に国旗を

百人の会が調査しましたところ、大阪府高槻市、池田市、豊中市、吹田市、摂津市、寝屋川市、守口市、富田林市、大阪狭山市、泉大津市、和泉市、岸和田市、泉南各市の議会議場に国旗が掲揚されていないことが判明。「国旗国歌法」に魂を入れるべく、早速NPO法人百人の会の第1号活動として、下記要請書を送付しました(発会式終了後送付)

## 各市町村議会議場における国旗掲揚についての要望

私も「NPO法人教育再生 地方議員百人と市民の会」(通称「NPO法人百人の会」と申します。全国二百数十名の地方議員並びに市民を中心に組織し、元・衆参両院議員、大学教授ら学識経験者を顧問になっていただき、現職の教師ならびに保護者等から寄せられる教育に関する諸問題に対し、「教育の荒廃を直視し」「地方議会を教育改革の場としてとらえ、なかんづく健全な学校教育の再生をめざす」ために活動しているNPO法人であります。

さて、平成11年8月13日に施行された『国旗及び国家に関する法律』により、日章旗(日の丸)をわが国の国旗とすることが、法律として定められました。  
世界各国、各都市の官公庁等においては国旗は毎日掲揚されており、国歌とともにその国の象徴として大切にされております。自国の国旗を尊重し、敬意と誇りを持つことは、他国の国旗を尊重する態度にもつながり、ひいては国際社会における尊敬と信頼を得ることに繋がります。国旗国歌を大切にすることは国際儀礼であり国際社会の基本的なルールであると考えます。

また、大阪府議会におきましても、平成21年12月15日に『国旗掲揚に関する決議』において、「.....国民の国を愛する意識の涵養に資するよう、府の施設をはじめあらゆる官公庁及び学校において国旗の掲揚が行われるよう強く求める。」「.....」決議されております。

しかるに、貴自治体におかれましては未だに議場での国旗掲揚がなされてないという聞き及んでおります。貴市町村執行部と住民の代表者である議会議員が一堂に会する本会議場において、国旗掲揚が一日でも早く実施されるよう強く要望いたします。

# 学校現場(特殊教室)からのレポート

## 埼玉県公立中学校教諭 N・M

超1級資料が届きました。皆様もよくご存知のノマ先生から、特殊教育支援学級の実況報告です。勝手ながら事務局増木(学習塾経営30年)が紙上対談させていただきました。

### 不登校問題について

ノマ 私は、この4月から、何人かの不登校生徒と、個別的に関わる機会がありました。というのは、支援教育の一環として、数人の生徒の個別対応係(授業時間だが、その児童達のみ、別室で学習させる。)をすることになったのです。

マス キ 優秀児の指導は誰でもできるが、この種の生徒の面倒を見るのは大変。私自身30年塾をやっていますが、授業料を5倍ほど欲しい。冗談ではないですが、5倍くらい手がかるんです。ノマ 彼らの特徴を一口でくくることはできませんが、つとめてまとめてみました。

暴力行為を受けて不登校になった者は一人もいない。というより、暴力を振るう子供への指導は、あまり難しくなく、学校内で特定の子供に対する特定の子供の暴力は、教師の指導で、おさまるケースが多く、また、おさまらない場合や暴力が酷すぎる場合は、その子供について、警察が介入することもできる。

マス 全く同感です。振るう方は「コラッ~~~~バカモン」と怒鳴れば大概解決。

ノマ ひとりだけ、お母さんが亡くなった子供がいるが、あとは全て離婚による母子、父子家庭。これもその通り。問題児の80%は両親に問題があります。そして怖いのが問題家族の連鎖。

マス だから私は提唱します。子供が成人するまで離婚禁止。「離婚禁止法」を作れよ。

ノマ 友達が怖いらしい。このハンの心理は、言葉には表しにくい。教室の机の椅子に座るだけで、他のみんなが自分について、何か言っているのではないかと考え、教室まで行くことができない。雰囲気がいやらしい。教室の入り口に立つのが怖い。みんなが自分を見る。臭いと言われたことがあり、それがすうっと心にあって、また、言われるのではないかと心配などなど。

マス 一種の心身症。この治療は校長(戸塚宏)に頼む以外にない。

他のみんなが自分について、何か言っているのではないかと考え、教室まで行くことができない。雰囲気がいやらしい。教室の入り口に立つのが怖い。みんなが自分を見る。臭いと言われたことがあり、それがすうっと心にあって、また、言われるのではないかと心配などなど。

マス 一種の心身症。この治療は校長(戸塚宏)に頼む以外にない。

ノマ 親の世話が傍目から見てもすくなく足りない。(すくなく不満に思っている子もいる。)本当に臭い、活い、髪の毛ぼうぼう。

マス 親がどうしたらいいかわからない。腫れ物に触るみたい。過保護の逆。適当分らないんです。首根っこ捕まえてたわしですれば済む話なんだけど。

ノマ 学力が極端に不振。しかし、学力は、普通程度か或いは少し上の者が大半です。

マス と言うことは生まれつき(知能指数)話ではなく、生活習慣が学力を決めるということなんです。

ノマ できる教科、好きな教科のみを学習したがる。マス 彼らは激しい偏食。これがわがままの度合い。

ノマ グチや文句が多く、我が儘。これには閉口する。世間話が大好き。友達がいないかららしい。大人とならおしゃべりできる。なぜか、大人と対等な口をきく者もいる。

マス このようなわがまま、大人扱い(身の程を勘違いする)を許してきた親、環境に大問題があるわけです。強度なワガママがこびりついて落ちない。

ノマ 他の不登校生徒と同室での学習をいやがる。私の場合けっこう強引に二人や三人の同室を指示するが、ひたすら「おびけけんじゃねー」と暴れた男子あり。

マス 協調性0。ある程度自覚している。「これではいけない」と思っている克服できない。そこからまたストリス。そして爆発。

ノマ 全員、もれなく、進路(高校受験等)について、自分自身で不安を持っている。しかし、挑戦するパワーがないらしい。

マス 「生きる力」が弱くなっているんです。

ノマ 反復練習活動をすくなくいやがる。「この漢字を間違えましたね。一個につき、100回書きなさい」というと、叫びだす者もいる。

マス これを書かせることができる先生が私の塾では一流の先生。私の塾では極端に言うことこれだけ。説明が上手か下手かなどどうでもいいのです。

ノマ 生徒との関係で「勝つ」ことが先生の基本です。生徒指導ではこれが最も大事なことだと思えます。

ノマ 全員、テレビゲームが大好き。

マス 時間を食べるのに一番いい方法です。

ノマ 人に見られるのをすくなく嫌う。(誰かが廊下

を通ると教科書で顔を隠す生徒もいる)

マス 自分に自信がない。しかしそれを認めない。ノマ 話を聞けば聞くほど、「この子は、何の恨みか分らないけれども、他の生徒を許していない」という印象を受ける。人を受け入れられないのですね。相手が少ない自分にとって不愉快なことを言うたりのしするの、許せない、という印象です。

マス まさに日教組の申し子。あなたはエライ! あなたのしたいことをしたらいい。で育ったから。

ノマ 問題生徒を風通しのよい別室(ソファやぬいぐるみがあったり、漫画や雑誌もある。カウンセラーによると、それらは、生徒の心に良い影響があるらしい。)で、先生と二人きりになり、雑談や好きな科目を学習して、午前中に帰るといつのが、どうも、釈然としません。中には、漢字もやれ、という

と、「ハ、パーカ、うぎい」など罵倒語を連発し、「オメーの頭をこのパイプ椅子でなぐってやったら、頭蓋骨から脳みそがどうどう出るんだぞ」と脅かす者もいます。

マス ノマ先生に「オメー」とはいいい根性してるな。僕など絶対怖くていえない。

ノマ 中には、気分が晴れているとき、教室にはいって勉強できる子供もいます。ところがその子が鬱のときに「教室に行け、世間はあなたの心の都合に合わせてまわらない。今からそんなことじゃ、世間に出られませんが」と、私が本当のことを言っていると、わんわんと泣きながら、「野牧先生は、幸せに育ったので、私のように不幸な生い立ちの者の気持ちが分らない」という意味の恨みを言う子供もいます。

マス 自分がおかしいのは自分が一番分かっている。何とかして責任を他へ持っていきたいわけ。

ノマ ただ、この子はいくらか家族的に恵まれており、母子家庭であるが、お母さんの実家でやさしいお婆ちゃんとともに暮らしていますので、他の子供より、清潔感があり、教室に行くことができる回数が多いのだと思います。その子があるとき、「私、今から10分、シヨキングしよう」と提案すると、「いや、歌のほがよい」とすくなく抵抗してしま

た。結局、好きなことはやりはるけれども、その先に何こうとする克己心に欠けるわけです。

カウンセラーの先生の話だと、「強さが弱さをカバーするようにもっていつてくたさい」とのこと。こういう言い方は、私には、分りにくいのですが、つまり、好きなことをどんどんさせて、「傷ついた」気持ち癒されたら、次のステップに挑戦させなさい、ということ。

マス これは絶対ありえない。永遠に次のステップにいかない。横着性に磨きがかかるだけ。第一、そ

んな暢気なこと社会が許しますか。教育とはなんですか。社会に通用する人を創ることですよ。

ノマ このような支援教育の方向が良いか悪いかは、さておき、不登校の子供の大半は、他の生徒から暴力を受けていないが、他の子供の視線や言葉が恐ろしい、つまり、人間関係がいやだ、ということなんだと思います。

マス 彼にしてみれば、「視線」がすでに暴力。暴力の定義の問題。ここで大事なことは、「視線」も暴力になるから「視線」を送るのは止めよう。ではなく、「視線」程度には負けるな。と鍛えること。それが教育だと思えます。

ノマ 現在の教育は、改正を重ねられるたびに、グループ活動で「コミュニケーション能力」や、生徒間、教師と生徒の間の関係を深くすることを重視した内容になってきました。これを見直したらいいかが、というのが私の提案です。

マス 登校拒否は逃避。弱いから。その一番根本を解決しなくて、グループがどうか、形をいくら研究しても何の解決にもならないと思います。「鍛える」。練習として野球が上手くなる方法は絶対ない。

「コミュニケーション」という耳障りのいい言葉で話しの本質(鍛えるということ)から遠ざける。日

教組教育の常套手段だと思います。

ノマ それから子供にとって、両親を中心とした家庭環境が健全でないと、気力や克己心がこの内面に芽生えないのではないかと、思います。

マス 親に言うんですが、教育の最後は親がやらないと他人はできない。「我慢せなアカン」と言うことは親が身を持ってやる以外に方法はないですよ。」と。

ノマ 「将来お母さんになったら」将来お父さんになったら「こうしなさい、ああいうことはしてはいけません、などと、子供の頃から「家庭を持つ」という心構えを子供に植え付け、立派な大人に成長させて、良き家庭を作り維持する、というのは大事な

ことだと思えます。

マス 今話題になっている、ジェンダーフリーの発展改良型「夫婦別姓」とんでもない話です。何が何でも言うなら、「但し、子供が成人に達するまではこれを認めない」と言う文言を入れていただきたい。

話しは本題から少々それますが、先日大阪の西区で1歳と3歳の乳児が餓死しました。母親は23歳の風俗の女性。私は怒りと憤りで手が震えました。

怒りの相手はこの母親ではなく、このような親を作ったジェンダーフリー推進派であり、不登校容認派。世の中には逃げようにも逃げられない事、自分の一切抑え力マンしなければならぬ尊いこともある。と

言うことを教えなかった教育環境に。